

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.1
平成27年4月13日

一期一会一出会いを大切に！

桜小学校で平成23年度から4年間勤務された伊藤 純代先生が、愛西市立西川端小へ校務主任として栄転され、新たに4人の新しい先生にご転入いただきました。伊藤純代先生には、桜小学校と桜小学校の児童のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。また、転入された4人の新しい先生は、桜小学校に新風を吹き込み、ご活躍いただけたらと思います。

【転出者】

伊藤 純代教諭（愛西市立西川端小学校へ）

【転入者】

鈴木 幸夫教諭（佐織西中より）、櫻井 真由美教諭（蟹江町立新蟹江小より）

瀬美井 稚恵教諭（甚目寺南小より）、鈴木 景子教諭（津島市立神守中学校より）

全校朝礼の話より（4／13）

今日は、6年生の選抜隊が、「集団行動隊」として集団行動のお手本をみせてくれます。校長先生は、とても楽しみにしています。カッコいいところを見せてくれることと期待しています。

さて、今日のお話は、「友達をつくる4つのポイント」です。新しいクラスになって1週間ほどたちました。友達はたくさんできましたか。1年生のみなさんは、友達できましたか。今日は、どうすれば友達と仲よくなれるか、友だちを増やすことができるかをお話します。

- ① 元気にあいさつする
- ② 相手をほめる
- ③ うれしい言葉をつかう（ふわふわ言葉）
- ④ 桜っ子しぐさを広める

一つ目は、人と顔があったら自分から「おはよう」「こんにちは」「さようなら」と言いましょう。あいさつは友達づくりの第一歩です。

二つ目は、「走るのが速いね」「歌が上手だね」「サッカーが上手だね」「絵が上手だね」など、相手をほめること、相手のいいところを見つけて、ほめてください。誰でも、ほめられたらうれしいです。大人でもほめられると、うれしいです。

三つ目は、言われたらうれくなる言葉、ふわふわ言葉と言いますが、そのふわふわ言葉をつかいましょう。そして、反対に悲しくなる言葉や傷つけるような言葉（チクチク言葉）は、つかわないようにしましょう。「ありがとう」「すごいね」「がんばってね」など、言われてうれしい言葉を大切にしましょう。

四つ目は、桜っ子しぐさをどんどん広めましょう。

これを続けたら、お友達が増えます



お参りの態度を教えられ

12日（日）に岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲山にある天台宗の寺院、華厳寺にお参りに行きました。毎年、春、夏、秋の年に3回ほど、桜や紅葉の観光も兼ねてお参りします。桜の花は、もう、見頃を過ぎていましたが、それ以上の素晴らしい光景を見ました。それは、山門の前で2歳から3歳ぐらいの幼児が、両手を脚の横に付け、きちんと気を付けをした後に、深々とお辞儀をして山門をくぐったことです。近くには父母の姿はなく、まったく一人で行った仕草でした。しばらく見ていると、その子の祖父母らしいお二人が、「もう、先に行ってしまっって・・・」と、20m程後から急いで追いつこうとされていました。普段、祖父母がやっていることを、この子は、見て覚えたのだろうと想像されます。

どんなに参拝しても、神様や仏様を尊敬する態度と感謝の気持ち、この二つが無いと、ご利益も頂戴できないと言われます。お参りの態度・作法をこの子に教えられました。